

|        |   |     |              |
|--------|---|-----|--------------|
| 商品名称   | カルドメック® チュアブル P 34/68/136/272   | 更新日 | Dec.01, 2012 |
|        | 動物用医薬品 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">要指示</span><br>犬糸状虫症予防・消化管内線虫駆除剤   |     |              |
| 成分及び分量 | <p>カルドメック チュアブル P 34 は、<br/>1 個中イベルメクチンを 34 <math>\mu</math>g、ピランテルパモ酸塩を 81mg 含有する</p> <p>カルドメック チュアブル P 68 は、<br/>1 個中イベルメクチンを 68 <math>\mu</math>g、ピランテルパモ酸塩を 163mg 含有する</p> <p>カルドメック チュアブル P 136 は、<br/>1 個中イベルメクチンを 136 <math>\mu</math>g、ピランテルパモ酸塩を 326mg 含有する</p> <p>カルドメック チュアブル P 272 は、<br/>1 個中イベルメクチンを 272 <math>\mu</math>g、ピランテルパモ酸塩を 652mg 含有する</p>  |     |              |
| 効能又は効果 | 犬：犬糸状虫の寄生予防、犬回虫及び犬鉤虫の駆除   |     |              |
| 用法及び用量 | <p>カルドメック チュアブル P 34<br/>体重 1kg 当たりイベルメクチン 6 <math>\mu</math>g、ピランテルパモ酸塩 14.4mg を基準量として、<br/>体重 5.6kg 以下の犬に本剤を 1 個摂取させる。本剤は犬糸状虫感染開始後 1 カ月<br/>から感染終了後 1 カ月までの期間、毎月 1 回、1 カ月間隔で摂取させる。</p> <p>カルドメック チュアブル P 68<br/>体重 1kg 当たりイベルメクチン 6 <math>\mu</math>g、ピランテルパモ酸塩 14.4mg を基準量として、<br/>体重 5.6kg を超える犬から 11.3kg 以下の犬に本剤を 1 個摂取させる。本剤は犬糸<br/>状虫感染開始後 1 カ月から感染終了後 1 カ月までの期間、毎月 1 回、1 カ月間隔で<br/>摂取させる。</p> <p>カルドメック チュアブル P 136<br/>体重 1kg 当たりイベルメクチン 6 <math>\mu</math>g、ピランテルパモ酸塩 14.4mg を基準量として、<br/>体重 11.3kg を超える犬から 22.6kg 以下の犬に本剤を 1 個摂取させる。本剤は犬糸<br/>状虫感染開始後 1 カ月から感染終了後 1 カ月までの期間、毎月 1 回、1 カ月間隔で<br/>摂取させる。</p> <p>カルドメック チュアブル P 272<br/>体重 1kg 当たりイベルメクチン 6 <math>\mu</math>g、ピランテルパモ酸塩 14.4mg を基準量として、<br/>体重 22.6kg を超える犬から 45.3kg 以下の犬に本剤を 1 個摂取させる。本剤は犬糸<br/>状虫感染開始後 1 カ月から感染終了後 1 カ月までの期間、毎月 1 回、1 カ月間隔で<br/>摂取させる。</p> |     |              |
| 使用上の注意 | <p><b>【一般的注意】</b></p> <p>(1) 本剤は要指示医薬品であるので獣医師等の処方せん・指示により使用すること。<br/>(2) 本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。<br/>(3) 本剤は定められた用法・用量を厳守すること。</p> <p><b>【使用者に対する注意】</b></p> <p>誤って薬剤を飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けること。</p> <p><b>【犬に対する注意】</b></p> <p>1 制限事項</p> <p>(1) 本剤の投与前には健康状態について検査し、異常のある犬には投与しないこと。<br/>(2) 本剤の投与前には犬糸状虫感染の有無を集虫法、抗原検査法等により検査し、犬<br/>糸状虫感染犬に投与する場合は、成虫及びミクロフィラリアを駆除するなど適切な処<br/>置を行い、慎重に投与すること。<br/>(3) 本剤は離乳前の子犬には投与しないこと。<br/>(4) コリー犬及びその系統の犬種に対し、イベルメクチンが神経毒性を示すおそれがある<br/>という報告があることから、コリー犬及びその系統の犬種に投与する際は慎重投与す<br/>ること。</p>  |     |              |

## 2 副作用

- (1) 副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。
- (2) 本剤の投与により、食欲不振、嘔吐、下痢(軟便)、元気消失、歩様異常、痙攣及び流涎がみられることがある。
- (3) 本剤を犬糸状虫感染犬に投与することにより、急性犬糸状虫症(大静脈症候群)、食欲不振、嘔吐、下痢(軟便)、元気消失、歩様異常、痙攣、流涎及び皮膚アレルギー症状(発赤・そう痒)がみられることがある。

## 3 相互作用

本剤を他の犬糸状虫症予防薬あるいは犬回虫、犬鉤虫駆虫薬と併用しないこと。

## 4 適用上の注意

- (1) 剰投与にならないように、本剤の投与前には体重を測定すること。
- (2) 本剤は犬糸状虫成虫には効果がないため、成虫駆除を目的として使用しないこと。
- (3) 本剤は犬によく噛ませるようにして与えること。普段から食物を噛まずに飲み込む傾向のある犬には、本剤を細かく割ってその全てを与えること。

### 【保管上の注意】

- (1) 小児の手の届かないところに保管すること。
- (2) 本剤の保管は高温及び多湿を避けること。
- (3) 光を避けて保管すること。

|              |  |
|--------------|--|
| <b>使用の期限</b> | 外箱に記載  |
| <b>包装</b>    | カルドメック チュアブル P 34      6 個/シート<br>カルドメック チュアブル P 68      6 個/シート<br>カルドメック チュアブル P 136      6 個/シート<br>カルドメック チュアブル P 272      6 個/シート |